

科目名	乳児保育Ⅰ		担当教員	佐木 彩水	
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	ED2CSR321
期待される学修成果	「保育の技能」[保育の実践]				
アクティブ・ラーニングの要素	ディスカッション、ディベート				
実務経験	幼稚園教諭・園長・臨床発達心理士				
実務経験を生かした授業内容	現場での経験を生かし、理論と実践をつなぎながら 幼児教育・保育の意義や教師・保育者の役割について講義する。				
到達目標及びテーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児、1歳以上3歳未満児に関わる保育の意義と目的を理解、子どもを愛し、養護し、教育する専門職の3歳未満児担当保育士としてあるべき姿について、学修を通して自らの中に思い描き説明できる。 ・3歳未満児の発達課題・発達の道筋について学び、月齢ごとの乳幼児の発達の特徴を、具体的なイメージを伴って理解する。その上で具体的な保育内容のありかたについて討議できる。 ・職員間の連携・地域・専門機関との連携の必要について理解する。 				
授業の概要	<p>本科目での必須課題は、「3歳未満児の発達課題」と「発達の道筋」の理解である。映像や事例に触れながら、月齢を追って乳幼児の発達の特徴を学習する。それと共に、保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における0～3歳未満児保育の内容を踏まえた上で、一人ひとりの子どもに応じた援助が出来るよう、具体的な関わり方を探る。また、乳児保育の理念と歴史及び社会的な役割・現状等について学習し、保育と家庭支援、専門機関との連携に携わる3歳未満児担当保育士としての専門知識の取得と自覚の向上を目指す。</p>				

授業計画	
第1回	オリエンテーション 乳児保育の目的と歴史
第2回	乳児保育の養護と教育
第3回	保育者の役割と子どもの関係
第4回	個々の子どもの体験と育ち
第5回	児童福祉施設における乳児保育
第6回	子育て支援と地域との連携
第7回	0歳児の保育内容
第8回	1歳以上3歳未満児の保育内容
第9回	身体・生理的機能の発育・発達
第10回	言葉・コミュニケーションに関する発育・発達
第11回	社会性に関する発育・発達
第12回	0歳児への援助と配慮
第13回	1歳児への援助と配慮
第14回	2歳児への援助と配慮
第15回	小テストと解説

事前学修	0.5時間	テキストに事前に目を通して頂くこと。日頃から新聞記事に目を通し、保育に関する社会事象に関心を向けること。
事後学修	0.5時間	それぞれ自分の考えたことをノートにまとめ記入し、授業内容を踏まえ復習をし整理しておくこと
フィードバックの方法	小テストによる学習課題の明示	

成績評価方法	割合 (%)	評価基準等
レポート	50%	倉橋惣三の世界に触れる
上記以外の試験・平常点評価	50%	小テストの点数
定期試験	0%	実施しない

補足事項	
------	--

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
『ワークで学ぶ乳児保育Ⅰ・Ⅱ』	菊地篤子	みらい	9784860155728	なし
参考資料				

科目名	乳児保育Ⅱ		担当教員	佐木 彩水	
単位	1単位	講義区分		ナンバリング	ED2CSR322
期待される学修成果	「保育の技能」[保育の実践]				
アクティブラーニングの要素	グループワーク				
実務経験	幼稚園教諭・園長・臨床発達心理士				
実務経験を生かした授業内容	現場での経験を生かし、理論と実践をつなぎながら 幼児教育・保育の意義や教師・保育者の役割について講義する。				
到達目標及びテーマ	・保育所保育指針の内容を踏まえ、子どもの発達のプロセスを理解する。・乳児を育む文化財について学び、それらを保育計画に活用する視点を持つ。・乳児期の保育内容を理解し、環境構成及び指導法について学ぶ。				
授業の概要	保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示された内容を踏まえ、乳幼児期に必要な環境と保育者の役割について学ぶ。また、乳幼児期の発達を理解し、保育内容を学ぶ。それらを踏まえ、具体的な指導場面を想定した計画及び模擬保育を行う。				

授業計画	
第1回	オリエンテーション（レポート発表の担当分け等） 乳児の生活の基本と配慮事項
第2回	乳汁栄養と授乳の援助と環境
第3回	離乳食の援助と環境
第4回	排泄とオムツ
第5回	トイレトレーニングの援助
第6回	睡眠のリズムと環境
第7回	着脱と衣服の管理
第8回	清潔の援助と生活行動
第9回	生活の中の安全・疾病・防災
第10回	0歳児の遊びと生活環境
第11回	1歳児の遊びと生活環境
第12回	2歳児の遊びと生活環境
第13回	個々の発達と援助と保育者のかかわり
第14回	指導計画と評価
第15回	小テストと解説

事前学修	0.5時間	直前の課題に対して予習・準備をしてくること
事後学修	0.5時間	それぞれ自分の考えたことをノートにまとめ記入し、授業内容を踏まえ復習をし整理しておくこと
フィードバックの方法	レポートに対するコメントや小テストによる学習課題の明示	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
レポート	50%	乳児の絵本の世界に触れる
上記以外の試験・平常点評価	50%	小テストの点数
定期試験	0%	実施しない
補足事項		

教科書

書名	著者	出版社	ISBN	備考
『ワークで学ぶ乳児保育Ⅰ・Ⅱ』	菊地篤子	みらい	9784860155728	なし
参考資料				